

差上申定免御請証文之事

一上田 反ニ六斗式升九合取

一中田 反ニ五斗九升七合取

一下田 反ニ五斗八升四合取

一下々田 反ニ五斗五升五合取

右等は、当村田方之義、右反取ヲ以當巳年〆酉年迄、五ヶ年定免之儀、惣百姓相談之上御請仕候

一御領分一同ニ、至而風水旱損大變年者、御檢見「被」仰付「可」被下候、尤一村田反別拾分一以上風水「損」、格別之損亡御座候ハ者、御檢見可奉願候、尤「拾分一内之儀者皆損仕候共、

惣百姓損亡仕、御定」免之通、御年貢上納可仕候事

一畑成田有之候ハ者、少之所成共申上、御年貢上納「可」仕候事

一前々永引・立掃り等有之候ハ者、少之所成共「可」申上候事

一場所ニ寄、定水損之場所持候百姓御座候ハ、御年貢者其水

損田位惣反別ニ割合、御定之」通御年貢上納可仕候、勿論持

主計之損亡仕間敷候、「村反別拾分一以上、格別之損亡御座候

ハ、御檢見」願可申上候事

右之通、当巳年〆酉年迄五ヶ年之内、御定免」之通少茂違変仕間

敷候、年々百姓前御年貢割「合之義、少茂無依怙鼠鼠、有躰ニ

割合、極月」十日以前上納可仕候、尤村中大小之百姓并出作」

之者、御定書之通、証文名主方江取置可仕候、為後日「定免御

請証文、仍如件

上州邑楽郡大佐貫村

百姓代

八右衛門印

六左衛門印

安兵衛印

安右衛門印

武左衛門印

六郎兵衛印

金左衛門印

文右衛門印

利兵衛印

甚右衛門印

清兵衛印

伊左衛門印

彦左衛門印

名主

寛延二年巳八月七日

御代官様